B-Max Racing Team
B-Max Racing 株式会社
252-1107 神奈川県綾瀬市深谷中 8-8-2
TEL 0467-39-5960 / FAX 0467-39-5940
http://www.b-maxracing.co.jp/

Press Release

2022.4.15

木村選手、デビューレースと第３戦で２位表彰台に上がる

B-Max Racing Team（SFL チーム代表 組田龍司）は、4 月 9～10 日、富士スピードウェイで行われた全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第 1～3 戦に参戦し、木村選手がデビューレースとなった第 1 戦と第 3 戦で 2 位表彰台に上り、着実にポイントを獲得するとともに、次戦に向け確かな手応えを掴むことができました。

菅波選手は、練習走行の好調さとは裏腹に苦しい週末となりましたが、徐々に調子を上げ第 3 戦では次戦に繋がる走りを見せました。

■第 1,2 戦予選（4 月 9 日（土）午前 8 時 50 分～9 時 20 分）

レースウィークの木曜日から始まった練習走行では、木村選手、菅波選手ともに好調さを維持しており、その流れで予選に臨みました。しかし、この日の変わりやすいコースコンディションにマシンの性格が変わってしまい、菅波選手は練習走行からは考えられない 8 位というポジションに低迷してしまいました。

木村選手は、最初のアタックでは上位に食い込みましたが、最終的にタイムが伸びず 5 位と、やはり不本意な位置で予選を終えることになりました。

第 2 戦のグリッドを決めるセカンドベストタイムも、木村選手 6 位、菅波選手 8 位となり、両レースとも苦しい位置からのスタートになりました。

	ドライバー	予選ベストタイム（順位）	予選セカンドベスト（順位）	Point（累計）
1 号車	木村偉織	1 分 33 秒 401（5/13）	1 分 33 秒 529（6/13）	0（0）
50 号車	菅波冬悟	1 分 33 秒 834（8/13）	1 分 33 秒 990（8/13）	0（0）

天候：晴れ、コース：ドライ、気温：16 度、路面温度：25 度

B-Max Racing Team
B-Max Racing 株式会社
252-1107 神奈川県綾瀬市深谷中 8-8-2
TEL 0467-39-5960 / FAX 0467-39-5940
http://www.b-maxracing.co.jp/

■第 1 戦決勝（4 月 9 日（土）午後 0 時 30 分～21 周）

快晴ではあるもののやや風が強いコンディションとなった決勝。予選 2 位の小高選手がエンジン交換のためグリッド降格。木村選手 4 番グリッド、菅波選手 8 番グリッドからのスタートとなりました。

スタート後の混乱をくぐり抜け、1 周目、木村選手は 2 位、菅波選手は 7 位でコントロールラインに戻ってくると、その後も 2 人は果敢に攻め、木村選手はトップの野中選手を 1 秒差で追い続けました。終盤にはトップに詰め寄る場面もありましたが、背後に迫るまでには至らず。それでも初レースで 2 位表彰台と上々のデビューを飾りました。

菅波選手は前車の脱落で 2 周目 6 位、7 周目 5 位に上がりましたが、上位グループには少しずつ引き離され、そのままフィニッシュを迎えました。

	ドライバー	決勝順位	ベストタイム（順位）	Point（累計）
1 号車	木村偉織	2 位	1 分 34 秒 753（2/13）	7（7）
50 号車	菅波冬悟	5 位	1 分 35 秒 097（6/13）	2（2）

天候：晴れ、コース：ドライ、気温：20 度、路面温度：35 度

■第 2 戦決勝（4 月 10 日（日）午前 9 時 25 分～15 周）

前日に比べ風もなく穏やかな天候となった日曜日。菅波選手はタイヤを傷めてマーキングされたタイヤ以外を使用することになったため 5 グリッド降格の 12 番手スタート。木村選手とともにシーズンを見据え着実に走り切ることを決めて決勝に臨みました。

木村選手はスタートでのポジションアップは叶わず、グリッド順位の 6 位をキープ。前後の間隔も開いてしまったため、ポイント獲得を目指して走り続けました。一方、菅波選手は終盤まで先行する平木玲次選手を攻め続けましたが、抜くまでには至らず 9 位でチェッカーを受けました。

B-Max Racing Team
B-Max Racing 株式会社
252-1107 神奈川県綾瀬市深谷中 8-8-2
TEL 0467-39-5960 / FAX 0467-39-5940
http://www.b-maxracing.co.jp/

	ドライバー	決勝順位	ベストタイム（順位）	Point（累計）
1 号車	木村偉織	6 位	1 分 34 秒 772（7/13）	1（8）
50 号車	菅波冬悟	9 位	1 分 34 秒 848（8/13）	0（2）

天候：晴れ、コース：ドライ、気温：19 度、路面温度：29 度

■**第 3 戦決勝**（4 月 10 日（日）午後 4 時 35 分～15 周）

第 1 戦の決勝結果がグリッドになり、2 番手、5 番手からスタートした木村選手、菅波選手でしたが、狙っていたスタートでは順位を上げることはできませんでした。木村選手はトップの平良選手を追い続けますが、その差は少しずつ開いていき 2 位フィニッシュ。この週末 2 度目の表彰台に上がりました。

菅波選手は 4 周目の 1 コーナーで小高選手をアウトからかわし 4 位にポジションアップ。その後もトップグループに迫る走りを見せ 4 位でフィニッシュしました。しかし、レース後に走路外走行の裁定が下り 5 秒加算で正式結果は 5 位となりました。

	ドライバー	決勝順位	レース中のベストタイム（順位）	Point（累計）
1 号車	木村偉織	2 位	1 分 34 秒 550（5/13）	7（15）
50 号車	菅波冬悟	5 位	1 分 34 秒 488（4/13）	2（ 4）

天候：晴れ、コース：ドライ、気温：21 度、路面温度：33 度

B-Max Racing Team
B-Max Racing 株式会社
252-1107 神奈川県綾瀬市深谷中 8-8-2
TEL 0467-39-5960 / FAX 0467-39-5940
http://www.b-maxracing.co.jp/

■チーム監督　高木真一コメント

予選は風の影響もありましたが、好調だった練習走行に比べ良いパフォーマンスを示すことができませんでした。エアロカーでは前車を抜くのは難しく、菅波選手は予選順位が結果に響いてしまいました。それでも第３戦は上手くまとめたと思います。木村選手は、デビュー大会での２位２回は評価できると思います。予選順位のバラつきをなくすことや、スタートを決めて前に出ることが今後の課題だと思います。次戦に向けては、２人ともに予選の一発の速さを示すこと、決勝でファステストラップを獲るタイミングを見極めることを意識して臨んでほしいと思います。

■チーフエンジニア　宮田雅史コメント

50 号車は練習走行までは良かったのですが、予選になって迷走してしまった感じです。第３戦の決勝は持ち直すことができたのは良かったと思います。木村選手は、本人もフルプッシュし続けたと言っていましたが、フィジカル面でも問題はなかったようですし、頑張っていたと思います。第３戦は平良選手の速さが目立ちましたが、うちがあまり良くなかったということもありました。次戦の鈴鹿は気温も上がると思いますし、体力的にも厳しいコースですので、ドライバーに頑張ってもらう部分が多くなると思います。

■1 号車ドライバー　木村偉織選手コメント

合同テストではフィジカル面の問題などもありましたが、この開幕大会に向けてやれることはすべてやってきました。予選から決して流れが良いとは言えませんでしたが、その状況において３戦中２戦表彰台は、良い滑り出しだと思います。ただ、優勝を狙うために足りない部分も見えてきました。次戦鈴鹿はチームも得意としていますし、自分も好きなコースです。時間は少ないですが、課題を改善してレベルアップし、優勝を飾りたいと思います。

■50 号車ドライバー　菅波冬悟選手コメント

良い状態と悪い状態を両方経験できた週末でした。練習走行までは自分の思うようにクルマを動かせていましたが、予選になった途端に今まで経験したことのないような状態になってしまいました。そこから改善を試みて、１レースずつ状態は良くなっていきましたが、納得できるレベルにはなっていませんし、何が悪かったのか、もっとやるべきことはあったのではないかと考えると、もやもやした気持ちは残っています。鈴鹿に向けては、今回の悪いイメージを引きずらないように、頭を切り替えて臨みたいと思います。

B-Max Racing Team
B-Max Racing 株式会社
252-1107 神奈川県綾瀬市深谷中 8-8-2
TEL 0467-39-5960 / FAX 0467-39-5940
http://www.b-maxracing.co.jp/

マスタークラス

■第 1,2 戦予選

出走 3 台とやや寂しいマスタークラスですが、植田選手を含め現在の日本を代表するジェントルマンドライバーの戦いは予選から白熱。特に今田選手、DRAGON 選手は予選からガチンコ勝負をしてクラスポールポジションを分け合いました。

	ドライバー	予選ベストタイム（順位）	予選セカンドベスト（順位）	Point（累計）
4 号車	今田信宏	1 分 35 秒 576（M1）	1 分 35 秒 828（M2）	1（1）
30 号車	DRAGON	1 分 35 秒 705（M2）	1 分 35 秒 730（M1）	1（1）

■第 1 戦決勝

スタートで 12 番グリッドの DRAGON 選手が 11 番グリッドの今田選手を抜くと、1 周目から両者による激しい攻防が繰り広げられました。7 周目に今田選手が前に出ると今度は DRAGON 選手が後ろから攻め立て、9 周目 1 コーナーでインを刺しましたが、アウト側から切り込んだ今田選手と接触。同士討ちとなってしまいました。ここでマシンにダメージを負った両者はピットに戻ってリタイアとなりました。

	ドライバー	決勝順位	ベストタイム（順位）	Point（累計）
4 号車	今田信宏	リタイア	1 分 37 秒 963（M2）	0（1）
30 号車	DRAGON	リタイア	1 分 37 秒 747（M1）	0 +1（2）

■第 2 戦決勝

第 1 戦でフロアを強打してしまった今田選手は前日に深夜までかかって急きょモノコック交換。このため決勝は最後尾スタートとなりました。それでもレース折り返しの 8 周目には DRAGON 選手の背後に迫り、ここから 2 人による攻防が始まりました。両者のクラストップを巡る戦いはチェッカーまで続きましたが、レースに関しては一日の長のある DRAGON 選手が今田選手を抑え切り、今季初のクラスウィンを果たしました。

B-Max Racing Team

B-Max Racing 株式会社

252-1107 神奈川県綾瀬市深谷中 8-8-2

TEL 0467-39-5960 / FAX 0467-39-5940

http://www.b-maxracing.co.jp/

	ドライバー	決勝順位	ベストタイム（順位）	Point（累計）
4 号車	今田信宏	M2 位（総合 12 位）	1 分 35 秒 970（M1）	7+ 1 （ 9）
30 号車	DRAGON	M1 位（総合 11 位）	1 分 36 秒 116（M2）	10（12）

■第 3 戦決勝

グリッドが後ろだった今田選手がオープニングラップに DRAGON 選手をかわして前に出るものの引き離すことはできず、6 周目に DRAGON 選手が再逆転。今田選手も必死に食い下がり、最終ラップには並走して 1 コーナーに飛び込みました。しかし、ここでも経験の差を見せた DRAGON 選手が先行。マスタークラス連勝を飾りました。

	ドライバー	決勝順位	ベストタイム（順位）	Point（累計）
4 号車	今田信宏	M2 位（総合 12 位）	1 分 36 秒 581（M1）	7+1（17）
30 号車	DRAGON	M1 位（総合 11 位）	1 分 36 秒 596（M2）	10（22）

B-Max Racing Team
B-Max Racing 株式会社
252-1107 神奈川県綾瀬市深谷中 8-8-2
TEL 0467-39-5960 / FAX 0467-39-5940
http://www.b-maxracing.co.jp/

■4 号車ドライバー　今田信宏選手コメント

去年は DRAGON 選手とクラスが違っていましたが、今年は同じクラスですので意識をしつつ勝負を楽しんでいます。今は競り合いのなかでの抑え方や抜かし方を勉強しているところですが、今回は百戦錬磨の DRAGON 選手に好きなようにやられてしまいました。富士は競り合いで経験の差が出やすいコースですが、次戦の鈴鹿は簡単には抜けないコースですので、予選で競り勝って抑えきりたいと思います。

■30 号車ドライバー　DRAGON 選手コメント

今回は、合同テストで痛めたモノコックを交換して臨みましたので、クルマがきちんと走るかを確認するところから始めました。予選まではセッティングでかなり迷いが生じてしまいましたが、決勝は少しずつ改善できました。目標の一つである若い選手に食らいつくという点では、路面の変化に対応しきれずに差を付けられてしまいましたが、今田選手との勝負では第 2 戦、第 3 戦でクリーンなファイトができ、両レースとも勝つことができ満足しています。鈴鹿も負けないように頑張ります。

Press Release

2022.4.15

B-Max Racing Team
B-Max Racing 株式会社
252-1107 神奈川県綾瀬市深谷中 8-8-2
TEL 0467-39-5960 / FAX 0467-39-5940
http://www.b-maxracing.co.jp/